※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次に学んだ内容をもとに、さらに掘り下げて伝統・文化を探求します。
・これまでの経験を活かし、創造的な作品づくりにチャレンジします。
・篆書や隷書など文字の変遷に合わせた臨書や創作に取り組みます。
・変体仮名を使って和歌作品に取り組みます。
・後期は２年間の集大成として、パネル制作・半切作品に取り組みます。

２　学習の到達目標

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
到達目標	１年生で学んだ書の表現方法や形式に加え、新たに学ぶ篆書や隷書など幅広く理解するとともに、書の技能の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付ける。	書の良さや美しさを感受するとともに、墨の濃淡や潤滑などを取り入れ作品の意図に基づいて構想し表現を工夫する。また、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うとともに、書の鑑賞能力を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現を身につけ表現しようとしている。 ・草書を読み、運筆や筆順を理解することができる。 ・１・２年で学習した書体を活用して創作作品を作ることができる。	・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・学校内外の様々なコンクールや展覧会に出品する作品に意欲的に取り組んでいくことができる。 ・臨書作品に取り組むときに、作者の意図を取り込んで表現することができる	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・展覧会の感想を記入して個々の作品について鑑賞能力を高めていくことができる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書（(篆書・隷書・草書の臨書)	古典の臨書 ・石鼓文 ・乙瑛碑 ・十七帖	a: 時代背景や拓本についての理解を深め漢字に対する関心を持ちながら取り組む。 b:基本点画を理解し、表現を工夫する。 c:直筆と側筆、順筆と逆筆, 肥筆、露峰と蔵峰などを理解し、自分なりの表現につなげる。 ｃ:各古典の特徴を理解し、感性豊かに鑑賞できる。	観察 レポート ワークシート	提出作品	提出作品 ポートフォリオ
	漢字の書(コンクール作品の制作)	書道コンクール応募作品の制作	a: 今までに学習した古典作品の中から自分の一番好きな作品を選び、作品作りに取り組む。 b: 基本点画を理解し、表現技法を工夫して制作する。	観察 レポート ワークシート	提出作品	
	漢字の書（創作）	臨書学習を活かした一字書制作 (額装して文化祭にて展示)	b: 意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:L版サイズに効果的に配置できるように表現を工夫する。 ｃ:日常生活に使われている文字のよさや美しさを味わう	観察 レポート ワークシート	提出作品	提出作品 ポートフォリオ
	篆刻	名前の印を制作する	a:篆刻の歴史や特徴等についての理解を深め、篆刻に対する関心を持ちながら取り組む。 b:篆書体の基本点画や造形を理解し、表現を工夫する。 ｃ:印稿の構成やバランスを理解し、感性豊かに鑑賞できる。	観察 レポート ワークシート	提出作品	提出作品 ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	パネル作品制作 （詩を使った全紙3分の1サイズの創作）	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけ表現する。 ｃ:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート	提 出 作 品	提出作品 ポートフォリオ
	仮名の書	仮名の基本的な用筆を学習し、連綿の学習から創作まで展開する。	b:仮名の基本点画を理解し、表現を工夫している。 c:古典の技法を取り入れながら、仮名の特徴を生かして表現している。 ｃ:日本古来の古典の美しさ･特徴を理解し創造的に鑑賞している。	観察 レポート ワークシート	提 出 作 品	提出作品 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度